

令和6年度 事後評価シート

施策	10子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供
K G I	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学校 【基準値】82.7%（令和4年度）【目標値】85.4%
	②将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学校 【基準値】70.3%（令和4年度）【目標値】69.0%
	③受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 小学校 【基準値】80.4%（令和4年度）【目標値】86.8%
	④受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 中学校 【基準値】75.2%（令和4年度）【目標値】83.6%
	⑤県立高校における夢や目標を持っている生徒の割合 【基準値】81.9%（令和4年度）【目標値】84.0%
	⑥県立高校における生徒の教育内容満足度 【基準値】84.7%（令和4年度）【目標値】87.0%

【細施策シート】

策シート】

							担当部局	教育委員会			
細 施 策		10_03	夢を実現する学力・技術力の保障					施策KGI	⑤・⑥		
K G I		各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合									
		KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	84.7 %	目標値	87 %	目標値	89 %	目標値	91 %
		基準値	84.7 %	実績値	84.7 %	実績値	82.7 %	実績値	%	実績値	%
				達成率	100 %	達成率	95.1 %	達成率	%	達成率	%
ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価		成果進捗 評価			
6 年 度	要因分析 【必須】	8割を超える高い水準を継続できているものの、前年比2.0%減となった。えひめ高校生プログラミングコンテストの拡充等により、発表の機会が増加したものの、全生徒への機会提供ができていないことが低下の一因であると考え。									
	見直し方向性 【必須】	課題研究の成果発表の機会を増やすことで、実績値の更なる向上が考えられることから、各事業での発表機会を多く取り入れることを検討するとともに、各校において校内での発表の機会を多く計画できるよう検討する。									